



株主のみなさまへ

# 第59期

報告書

2013.4.1～2014.3.31

## Contents

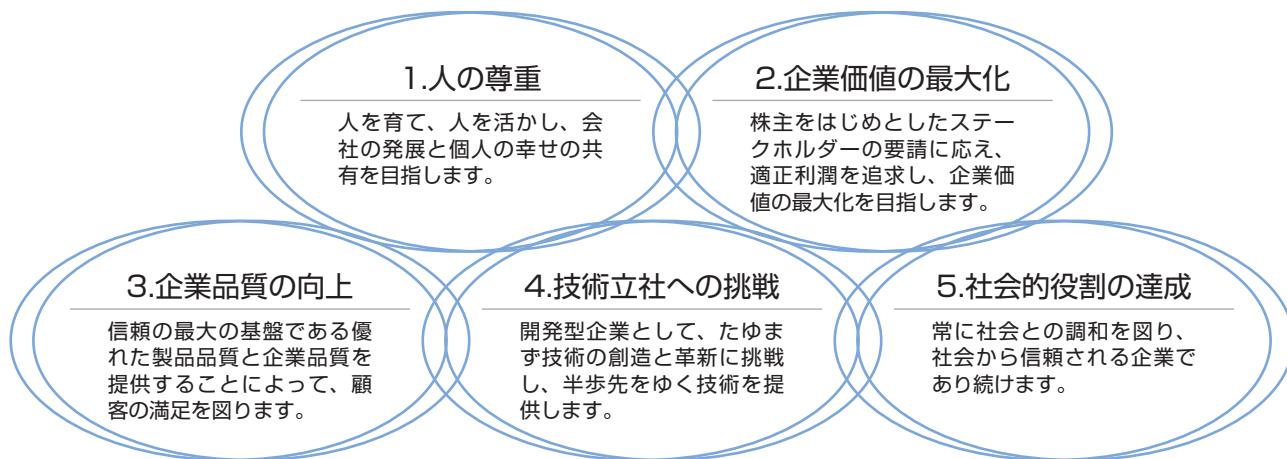
---

企業理念	1
社長ごあいさつ	2
セグメント情報	3
連結財務諸表	4
単体財務諸表	5
会社概要	6

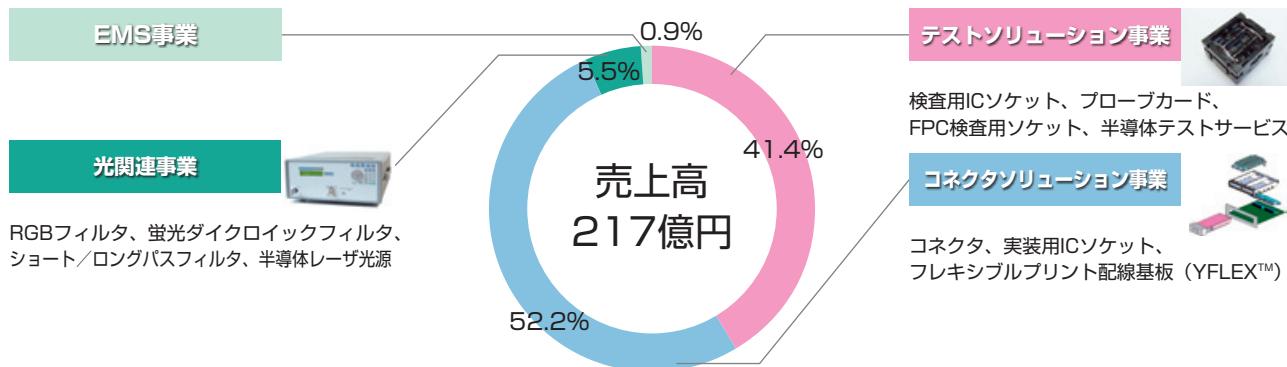
**山一電機株式会社**

[証券コード:6941]

山一電機グループは、新しい価値の創造に革新的に取り組み、  
エレクトロニクス産業において、すぐれた品質の  
トータルパッケージサービスを提供することを通じて、  
お客様の価値創出に貢献します。



## セグメント別売上高構成比と主要な事業内容 (平成26年3月期)





株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。平成25年度(第59期・平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)の事業の概況をお届けし、ご報告申し上げます。

代表取締役社長

太田 佳孝

当連結会計年度における電子部品業界は、自動車関連およびスマートフォンやタブレットなどのモバイル端末機器の需要は好調に推移いたしました。薄型テレビ、デジタルカメラやパソコンなどのコンシューマ機器向け製品は一部で消費税増税前の駆け込み需要があったものの、総じて厳しい状況となりました。

このような経営環境の中で当社グループは、基幹事業に経営資源を集中し、持続的成長と収益力の向上を図るべく、国内外のEMS事業を終息し、グローバルでの業務効率化や固定費削減などの「事業構造改革」に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、PVソリューション事業およびEMS事業の撤退による減収があったものの、テストソリューション事業およびコネクタソリューション事業が増収になったことから、21,778百万円（前年同期比9.1%増）となりました。利益面でも、営業利益は構造改革による

経費削減などにより806百万円（前年同期は営業損失1,242百万円）、経常利益は為替差益536百万円の計上などにより1,292百万円（前年同期は経常損失810百万円）、当期純利益は特別退職金や固定資産の減損損失を特別損失に144百万円計上したことにより970百万円（前年同期は当期純損失3,139百万円）となりました。

次期の見通しにつきましては、テストソリューション事業、コネクタソリューション事業および光関連事業の3事業に経営資源を集中し、「構造改革」、「収益力強化」、「成長戦略」の3つの柱をベースとした「事業構造改革」に引き続き取り組み、持続的成長と収益力の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともますますのご支援とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

## 経営方針

### 構造改革

#### EMS事業の終息

プライコンマイクロエレクトロニクスINC.のEMS事業売却、  
マティ株式会社での清算終了

#### 販管費の圧縮

当社本社移転、ERPコスト削減、ワールドワイド業務人員見直し

### 収益力強化

#### 不採算品からの撤退

現不採算からの撤退と将来に作らない仕組み化

#### ロスコストの低減

現場力に磨きをかけ、無駄コストを圧倒的に減する

#### 海外機能アップ

開発、QCD管理、サプライチェーン管理を海外移転

### 成長戦略

#### TS事業

ブランド力を活かし、顧客サービスの機会を増やす

#### CS事業

ニッチトップの戦略を徹底する

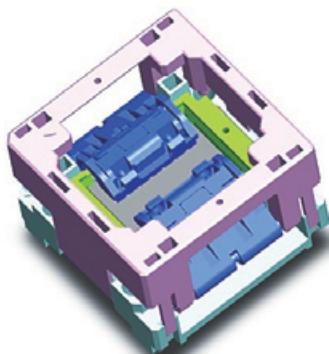
#### OPT事業

キラー商品（樹脂を使用したIRカットフィルタ）をビジネス化する

## テストソリューション事業

## バーンインソケット新機構技術を開発

スマートフォンやタブレット端末に代表されるモバイル機器用半導体は、高性能、省スペース化が進み、薄型化しております。この薄型化により従来の安定した接触性能に加え、検査時における半導体への機械的ストレスの低減が必要とされております。当社は半導体への「接触の安定」と「ストレス緩和」を両立させた新機構を開発いたしました。



新機構ソケット

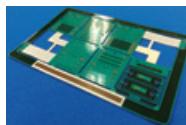
## テストソリューション事業



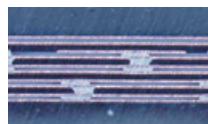
## コネクタソリューション事業

## 高速伝送対応世界最薄クラス多層基板を開発

近年のデータ通信市場は、大量のデータを高速処理する必要があり、回路基板には高い伝送速度とさらなる小型化、薄型化が求められております。当社は、薄型化と高速伝送を両立させた多層基板を開発いたしました。10層基板では世界最薄クラスの厚さ0.45mmを実現、6層基板では、厚さ0.40mm以下で79GHz帯の高速伝送にも対応しております。今後も高速データ通信市場のニーズにお応えしてまいります。

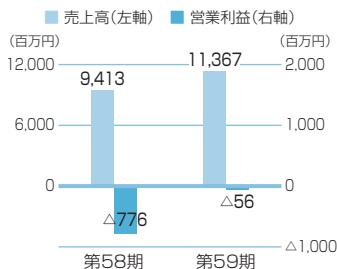


薄型多層基板 (10層)



10層基板の断面画像

## コネクタソリューション事業



## 光関連事業

## 透過率変動を抑えた樹脂低反射NDフィルタの量産を開始

近年アジア圏で急速に市場が拡大している監視カメラでは、天候や時刻による明るさの違いを調整し、つねに鮮明な画像を得るためにNDフィルタが必要不可欠な部品になっております。当社は、従来のNDフィルタでは避けられなかった透過率の経時変化を抑えた光学薄膜を開発してまいりましたが、薄さ0.1mmの樹脂フィルムを基材としたNDフィルタの低コスト量産技術を実用化し、国内外の監視カメラメーカー向けに製品をリリースいたしました。

※ND (Neutral Density) は減光を意味します。



扇型NDフィルタ採用製品



樹脂低反射NDフィルタ

## 光関連事業



# 連結財務諸表

Consolidated Financial Statement

## ■連結貸借対照表

【資産の部】

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	(平成26年3月31日現在)	(平成25年3月31日現在)
<b>流動資産</b>	<b>12,261</b>	<b>11,270</b>
現金及び預金	4,890	3,805
受取手形及び売掛金	3,943	3,936
たな卸資産	2,800	2,874
その他	626	653
<b>固定資産</b>	<b>11,317</b>	<b>11,552</b>
有形固定資産	9,103	9,244
無形固定資産	77	92
投資その他の資産	2,136	2,214
<b>繰延資産</b>	<b>4</b>	<b>5</b>
<b>資産合計</b>	<b>23,582</b>	<b>22,828</b>

【負債、純資産の部】

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	(平成26年3月31日現在)	(平成25年3月31日現在)
<b>流動負債</b>	<b>8,612</b>	<b>8,833</b>
支払手形及び買掛金	1,521	1,279
短期借入金	4,898	5,508
その他	2,192	2,045
<b>固定負債</b>	<b>1,488</b>	<b>1,742</b>
社債	162	197
長期借入金	428	691
その他	897	853
<b>負債合計</b>	<b>10,100</b>	<b>10,575</b>
<b>株主資本</b>	<b>14,084</b>	<b>13,114</b>
資本金	10,047	10,047
資本剰余金	1,586	4,520
利益剰余金	2,454	△1,449
自己株式	△3	△3
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△617</b>	<b>△880</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>15</b>	<b>19</b>
<b>純資産合計</b>	<b>13,482</b>	<b>12,252</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>23,582</b>	<b>22,828</b>

## ■連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	(自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)
<b>売上高</b>	<b>21,778</b>	<b>19,962</b>
売上原価	15,417	15,857
<b>売上総利益</b>	<b>6,361</b>	<b>4,105</b>
販売費及び一般管理費	5,554	5,347
<b>営業利益</b>	<b>806</b>	<b>△1,242</b>
営業外収益	780	766
営業外費用	294	334
<b>経常利益</b>	<b>1,292</b>	<b>△810</b>
特別利益	38	26
特別損失	164	2,246
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>1,167</b>	<b>△3,030</b>
法人税、住民税及び事業税	238	119
法人税等調整額	△41	△8
少数株主利益	0	△0
<b>当期純利益</b>	<b>970</b>	<b>△3,139</b>

## ■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	(自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,783	429
投資活動によるキャッシュ・フロー	△698	△1,673
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,125	△445
現金及び現金同等物に係る換算差額	116	193
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,075	△1,496
現金及び現金同等物の期首残高	3,795	5,292
現金及び現金同等物の期末残高	4,871	3,795

## 貸借対照表

### 【資産の部】

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	(平成26年3月31日現在)	(平成25年3月31日現在)
<b>流動資産</b>	<b>9,934</b>	<b>8,711</b>
現金及び預金	2,913	1,627
受取手形及び売掛金	3,249	2,995
たな卸資産	668	818
その他	3,103	3,271
<b>固定資産</b>	<b>11,179</b>	<b>11,887</b>
有形固定資産	6,382	6,403
無形固定資産	48	64
投資その他の資産	4,748	5,419
<b>資産合計</b>	<b>21,114</b>	<b>20,599</b>

### 【負債、純資産の部】

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	(平成26年3月31日現在)	(平成25年3月31日現在)
<b>流動負債</b>	<b>7,269</b>	<b>7,480</b>
支払手形及び買掛金	1,139	979
短期借入金	4,908	5,480
その他	1,222	1,019
<b>固定負債</b>	<b>1,084</b>	<b>1,297</b>
長期借入金	408	651
その他	675	646
<b>負債合計</b>	<b>8,354</b>	<b>8,778</b>
<b>株主資本</b>	<b>12,346</b>	<b>11,629</b>
資本金	10,047	10,047
資本剰余金	1,586	4,520
利益剰余金	716	△ 2,933
自己株式	△ 3	△ 3
<b>評価・換算差額等</b>	<b>413</b>	<b>191</b>
<b>純資産合計</b>	<b>12,760</b>	<b>11,821</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>21,114</b>	<b>20,599</b>

## 損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	(自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)
<b>売上高</b>	<b>12,416</b>	<b>11,079</b>
売上原価	9,854	9,821
<b>売上総利益</b>	<b>2,561</b>	<b>1,258</b>
販売費及び一般管理費	2,005	2,400
<b>営業利益</b>	<b>556</b>	<b>△ 1,142</b>
営業外収益	1,016	1,278
営業外費用	214	229
<b>経常利益</b>	<b>1,358</b>	<b>△ 92</b>
特別利益	24	87
特別損失	580	2,897
<b>税引前当期純利益</b>	<b>802</b>	<b>△ 2,902</b>
法人税、住民税及び事業税	67	34
法人税等調整額	17	△ 3
<b>当期純利益</b>	<b>716</b>	<b>△ 2,933</b>

## 会社の概要 (平成26年3月31日現在)

商号 山一電機株式会社  
 所在地 東京都大田区南蒲田2丁目16番2号  
 設立 昭和31年11月  
 資本金 100億4,706万円  
 従業員数 339名(連結 2,227名)  
 主な事業内容 1. テストソリューション事業  
 2. コネクタソリューション事業  
 3. 光関連事業

## 株式の状況 (平成26年3月31日現在)

- ① 発行可能株式総数 60,000,000株
- ② 発行済株式総数 23,289,775株
- ③ 株主数 10,058名
- ④ 単元株式数 100株
- ⑤ 大株主

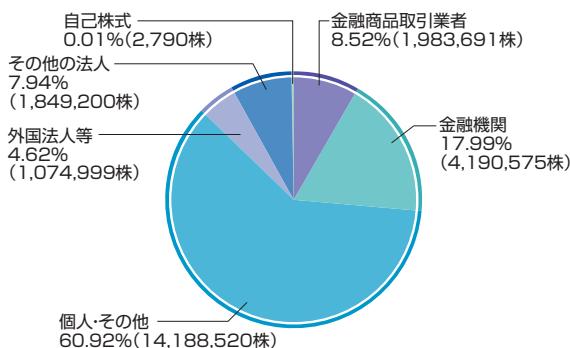
株主名	持株数	持株比率
	株	%
日本証券金融株式会社	832,200	3.57
山一電機従業員持株会	644,288	2.77
株式会社三井住友銀行	619,300	2.66
山一電機取引先持株会	606,900	2.61
S M K 株式会社	475,600	2.04
日本生命保険相互会社	473,675	2.03
株式会社SBI証券	311,600	1.34
株式会社三菱東京UFJ銀行	265,600	1.14
株式会社みずほ銀行	261,300	1.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	235,200	1.01

(注) 持株比率は自己株式2,790株を控除して計算しております。

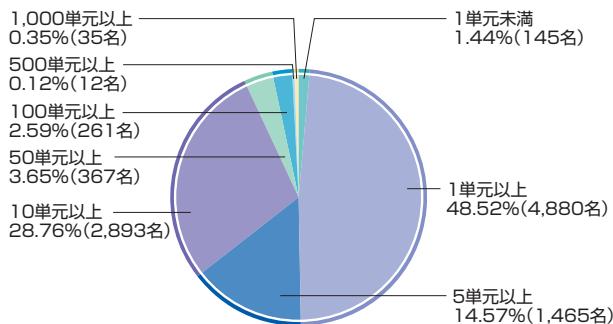
## 役員 (平成26年6月26日現在)

代表取締役社長 太田 佳孝 常勤監査役 近岡 伸  
 取締役 加藤 勝市 社外監査役 吉澤 壽美雄  
 取締役 土屋 武 社外監査役 多田 郁夫  
 取締役 亀谷 淳一  
 取締役 渡部 武光

## 所有者別株式数分布状況 (平成26年3月31日現在)



## 所有株数別株主数分布状況 (平成26年3月31日現在)



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場第1部：証券コード6941)
公告の方法	電子公告により行う (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

### 【お知らせ】

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株主の皆様のお声を聞かせください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード **6941**





kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。  
(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝(図書カード500円)  
を差し上げてさせていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
(株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>)  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問合わせ TEL:03-5777-3900  
(平日 10:00～17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

## IRサイトのご案内

当社では、Web上で「投資家情報」として次のような情報を公開しています。今後も、株主の皆様への情報開示の内容を充実し、迅速に開示を行っていく所存です。

Web上で  
ご覧いただける  
投資家情報

- ・IRカレンダー
- ・決算短信
- ・株主のみなさまへ
- ・有価証券報告書
- ・お問合せ

<http://www.yamaichi.co.jp/aboutus/ir/ir.shtml>

 **山一電機株式会社**

〒144-8581 東京都大田区南蒲田2丁目16番2号  
テクノポート三井生命ビル  
☎03-3734-0171 (代表) ☎03-3734-0120  
ホームページアドレス <http://www.yamaichi.co.jp>

